平成27年第8回大仙市教育委員会定例会議事録

平成27年第8回大仙市教育委員会定例会を平成27年8月26日(水)午後2時から 大曲図書館において開催した。

出席者

委 員 風 登 森 一 富 樫 佳 典 鈴 木 直 樹 伊 藤 良

教育長 吉 川 正 一

竹 原 まゆみ

説明員

千 田 教育指導部長 寿 彦 生涯学習部長 山谷 喜 元 教育総務課長 佐藤 洋 彰 教育指導課長 嶋 九 明 正 教育研究所長 佐藤 英 樹 生涯学習課長 山 崎 文 幸 文化財保護課長 細川 良 隆 学校給食総合センター所長 杉 山 光 行 総合図書館長 高 見 正 信 総合市民会館長 大 河 洋 子 花館公民館長 千 葉 夫 信 神岡中央公民館長 石 山 雄 康 小山田 幸 哉 西仙北中央公民館長 中仙公民館長 草薙栄良 佐々木 稔 協和公民館長 南外公民館長 佐藤 政 利 仙北公民館長 加藤 実 太田公民館長 煤賀康典

書記

 教育総務課参事
 藤 井 吉 美

 教育総務課参事
 田 口 広 龍

付議案件

- (1) 議案第44号 大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理 について
- (2) 議案第45号 平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)案に関する臨時代 理について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は委員の皆様、全員御出席ですので、会議は成立いたします。書記に藤井参事、田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成27年第8回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

早速ですが、次第3番、教育長報告に入らせていただきます。

お手元の資料の1ページから御覧ください。

まず、学校教育関係でありますが、8月6日、7日の両日、コロンブスの卵わくわくサイエンス事業が行われ、和光市にある理化学研究所と千葉市の千葉大学医学部において、太陽系外惑星や原子核のつくりなど最先端の研究の状況やお話を聞くことができました。

8月19日には、14回目となる大仙市中学生サミットが大曲中を会場に開催され、大仙市版のSNSルールやそれを踏まえた「いじめ撲滅宣言」が発表され、承認されました。お手元の資料ナンバー1にその宣言がございますので、後で御覧ください。なお、こちらの配慮不足でありましたが、次回より委員の皆様へも御案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

夏休み中は体育・文化面での各種大会等がございました。第3回目となる科学の甲子園ジュニアには、大曲中が出場することとなりました。また、吹奏楽コンクールでは大曲中と大曲南中、合唱では大曲中が東北大会出場を決めています。なお、資料には載せておりませんが、協和小学校のバンド部、太田南小、太田東小のバンド部も東北大会への出場を決めています。体育関係では多くの中学生が全国大会に出場しています。特に水泳の大曲中学校の中原君が6位に入賞ということでございます。

次に8月の研修等ですが、8月6日に新たに3人のALTが赴任しました。リチャード さんは大曲南中等へ、イリンさんは平和中等へ、タラさんは太田中等で英語助手を務めま す。

昨日、全国学力・学習状況調査の結果が公表となりました。詳しい分析はこれからですが、大まかな概要につきましては、後ほど教育研究所長から説明させていただきます。

次に生涯学習関係でありますが、8月1日にPTA連合会主催の講演会がドンパルで開かれ、子どもの手による弁当作りの意義、素晴らしさについて、香川県の元小・中学校長であった竹下先生の講演があり、感動するお話をお聞きしました。

8月4日から7日にかけましては、市の公民館やスポーツ施設を視察いたしました。今後、公民館同士の連携や学校と各施設の連携の強化を進めたいと思っております。ただ、かなり老朽化している施設もあり、今後の公民館施設の有り様の観点からも大きな課題であります。

8月15日には成人式が行われ、今回は恩師からのビデオメッセージと成人者による座談会が企画され、いつものアトラクションとは違う、成人の意味を改めて考える場になったのではと思っております。

その他、各地区の夏祭り等には多くの小中学生が参加し、盛り上げてくれました。「地域活性化に寄与できる子どもの育成」という点からも、今後も多くの参加を働きかけたい

と思います。

次に文化財関係でありますが、8月17日に県内唯一の国宝である豊川の水神社の鏡像が開帳されました。私は初めて参加させていただきましたが、本物にはやはり重みがあると感じた次第です。

社会体育関係については、今年も全国の高校・大学からサマーキャンプ地として大仙市 の施設を活用され、受入体制等に大変満足されていたようです。

また、平成29年開催予定の500歳野球全国大会の宣伝も兼ねて、京都から500歳 野球チームを招いて親善試合を行いました。あいにくの雨模様でしたが、花火も鑑賞され てお帰りになりました。

なお、ここには載せておりませんが、スポーツ少年団の活動では、剣道、空手、卓球、 バドミントン、ソフトテニスの5種目14団体が全国大会に出場します。

最後に安全・安心面ですが、中仙学校給食センターの職員の方々が東京で、以前発生いたしましたノロウィルス事故の対応について発表し、全国の関係者から評価を受けたそうです。

この夏休み中、大きな事故等はございませんでしたが、一部報道にもありましたように、8月19日午後8時50分頃、国道46号の荒川郵便局近くで、協和小3年の男子が母親の車に同乗中、交通事故に遭い、軽傷を負いました。残念ながら、相手の方は死亡されましたが、状況から相手の方が対向車線に入ってきたのが原因ということのようです。以上であります。

次に、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。教育総務課長から、順にお願いします。

教育総務課長

教育総務課、6項目掲載しております。西仙北中学校陸上競技場第4種公認検査が8月20日午前4時から行われました。大仙市内で唯一の公認陸上競技場ということで5年ごとの更新ですが、必要な整備を行いまして合格しております。以上であります。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課では、17項目挙げさせていただきました。8月4日、第18回大仙市教職員研究集会を全体会テーマ「大仙市の教育10年間の総括と今後の展望」として大曲市民会館を会場に開催しております。教育委員の皆様にも御参集いただきましてありがとうございました。これからのビジョンをお互いに確認する、あるいはこれまでの歩みを確認する絶好の機会になったと思っております。それから、8月29日にはだいせん防災事業「生き抜く力育成事業」避難所開設訓練が西仙北中学校、西部わくわくランチを会場に当日午前9時から午後5時まで開催されます。以上でございます。

吉川教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課では10項目、挙げております。記載のとおりですが、一つ報告事項がございます。このたび、生涯学習課の主査が秋田県社会教育委員に委嘱されました。13人の委員の1人ということであります。任期は、平成27年7月16日から平成29年7月15日までの2年間となっております。以上でございます。

吉川教育長

次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長

文化財保護課は15項目のうち、二つの項目を紹介させていただきます。はじめに、秋 田大学社会科教育研究室の学生、院生と指導教官12人が来庁されました。この研究室で は、今年度の教材作成の研究テーマに鈴木空如のことを選びまして、空如の資料群の調査 とか、あるいは画業を探るために太田地域を訪問されました。この後、更に情報を集める などして、12月を目標に児童生徒向けの教材を作成する予定でして、こちらでも情報提 供させていただきました。少しずつ空如の画業が知られることになったことは、非常に喜 ばしいことだと思います。次に大曲の花火大会に合わせた旧池田氏庭園の公開についてで す。実質2日と半日間でしたけれども、昨年と比較し、110人ほど多い900人の方々 から庭園を鑑賞していただきました。旧池田氏庭園と大曲の花火の関係ですが、この場を お借りしてあまり知られていない大会の情報を提供させていただきます。第1回目の大曲 の花火は明治43年西暦1910年ですので、今から110年前、ちょうど今日8月26 日に第1回奥羽六県煙火共進会として行われています。その際の花火をやりましょうと呼 びかけたのが大曲の榊田清兵衛と池田家13代当主池田文太郎であり、この二人が大会の 顧問となって開催しています。なお、このときの大会会長が仙北郡長の曲木光弼で副会長 が大曲町長の石井忠良でした。郡長の曲木は、後に池田家の帳簿を預かる総務となる人物 ですので、第1回目の花火大会に池田家は深く関係していたということであります。以上、 紹介させていただきました。

吉川教育長

次に、スポーツ振興課長は所要のため欠席ですので、生涯学習部長からお願いします。

生涯学習部長

全国 5 0 0 歳野球普及活動ということで、月曜日から課長が宮崎市を訪れております。 台風の影響が心配されましたが、日程を順調にこなしているようです。以上です。

吉川教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、8項目載せております。お手元に配付しております認証書の写しですが、これは秋田県が高度な衛生管理体制を整備し、一定のスキルに達している施設に対して認証している制度です。通称秋田県ハサップ認証制度といわれています。本市では昨年10月21日に、県内の学校給食施設として初めて大仙市学校給食総合センターが取得しております。これに続きまして、去る8月7日に中仙学校給食センターが取得しました。以上です。

吉川教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館は、7項目挙げさせていただきました。記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館、4項目ですが、記載のとおりでございます。

吉川教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は14項目記載しております。8月10日、11日に1泊2日で花館小学校の4年生から6年生までの児童18名が花館公民館で防災に関する宿泊体験を行いました。これには、非常食を食する体験や二人一組となっての段ボールの部屋づくり、夜は安全な花火の遊び方の学習やすいか割りなどを行っております。二日目の11日は、午前9時から花館地区の市民や花館保育園児など約180名が参加して防災学習を公民館の駐車場で行っております。消防車の見学や消火訓練、可搬式ポンプでの放水体験を行ったほか、地震体験車への試乗を行いました。最大震度7までの揺れを体感していただきましたが、揺れ初めは笑顔がありましたけれども、揺れが強くなるにつれて表情も険しくなっていました。最後は、防災クイズを行い、災害時の身の守り方について消防職員から教えていただきました。今回の宿泊体験について、段ボールの部屋に二人一組ずつ泊まっていただきました。みんな興奮してしばらく寝付けないだろうなと思っておりましたが、周りが見えなく、また、プライバシーも守られたせいか、予定どおり眠りについていました。短時間の避難時には段ボール部屋はプライバシーの保護やストレスの緩和になるなと改めて感じたところであります。以上であります。

吉川教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は、10項目記載しております。夏休み期間中ということもありまして7月下旬から8月上旬にかけましては、夏休み簡単工作教室、B&G海洋センタープールを利用しましたジュニア水泳教室など子供を対象とした公民館事業を多く実施しております。その他の事業については、例年どおりです。以上です。

吉川教育長

ありがとうございました。次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長

西仙北中央公民館では14項目挙げさせていただいております。亀田街道・雄清水まつりについて御報告いたします。従来、亀田街道まつり、雄清水・雌清水まつりがそれぞれありましたけれども、小学校、中学校の統合により子供たちの参加が不足となってきたため、昨年から亀田街道・雄清水まつりという名称に変えまして、合体した形で行っております。亀田街道の並木の散策と雄清水・雌清水の場所においてのイワナのつかみ取りなどを行っております。参加者は、230名ほどでございました。以上です。

吉川教育長

ありがとうございました。次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は9項目挙げさせていただきました。8月20日の中仙スポーツクラブウォーキング交流会についてですが、午前中の実施でした。22名の参加による十六沢城址から小沼神社までのウォーキングを実施いたしました。これにつきましては、FMはなびでも御案内をいただいております。以上でございます。

吉川教育長

ありがとうございました。次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館では、6項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館は、神岡中央公民館同様、7月下旬から8月は小中学生が夏休みということ

で、子供たちを対象とした様々な事業を実施いたしました。それから、盆踊りには南外中学校の生徒がよさこいソーランを披露するなど地域の行事に参加してくれました。次に"秋田ノーザンハピネッツ"バスケットボールクリニックですけれども、この事業は南外地域のスポーツ施設の指定管理者となっている業者が地域貢献事業として行っているもので、当日はハピネッツの主力選手である田口選手など5人の選手が来てくれまして、市内のミニバス、スポ小7チーム参加の下、技術指導、ミニゲームなどを行っていただきました。来年秋に開幕する新リーグで1部参入が決まっているハピネッツの選手から直接指導してもらったということで、子供たちも大変喜んでいました。以上でございます。

吉川教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

同じように夏休みに合わせて、子供、親子の事業が多くなっております。子ども夏まつり D X でございますが、これは毎週土曜日に公民館の一室を開放して子供の居場所づくりをしているイベントであります。高校生ボランティアが参加してくれたり、小学校1年部の親子レクレーションがタイアップして参加してくれたりということでありまして、学校との連携とまではいかなくても、保護者とは連携できたかなと思っております。以上です。

吉川教育長

ありがとうございました。次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館では太田花壇フェアーということで、今度の土曜日から9月6日まで太田中学校の前庭を主会場に開催いたします。初日は、花と音楽ということで、小中学校の吹奏楽からもコンサートやマーチングを披露していただくことになっております。関連しまして昨日ですが、太田地域花いっぱいコンクールということで、家庭花壇や団体で管理している地域花壇の審査を行いました。121の個人・団体からの応募がありまして審査を行っております。以上です。

吉川教育長

ありがとうございました。以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員

京都から来て500歳野球の親善試合を行ったということですが、花火大会の最中で宿 泊施設の確保に苦労されたと思いますが、どこに宿泊されたのでしょうか。

神岡中央公民館長

初日は嶽の湯、二日目はユメリアでした。定員オーバー状態でしたが、無理を言って宿泊させていただきました。

吉川教育長

嶽の湯は、大広間で宿泊していただいたようです。元々は、大浦クラブさんとの交流が きっかけのようです。

伊藤委員

来年以降も続けられるのでしょうか。

神岡中央公民館長

5年に1回の交流のようで、順調にいけば5年後に大浦クラブが京都に行って交流する ということだそうです。

伊藤委員

京都に行く際も、何かお祭りに合わせてということでしょうか。

神岡中央公民館長

意図したところはないと思いますけれども、たまたま今年は大曲の花火の時期に、市長を表敬訪問したいと、500歳野球全国大会についてのお話を伺いたいということが第1の目的だったと伺っております。

吉川教育長

よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

各委員(なし)

吉川教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。議案第44号「大仙市運動広場設置条例の一部を改正する 条例案に関する臨時代理について」を議題といたします。スポーツ振興課長の代わりに、 生涯学習部長から説明をお願いします。

生涯学習部長

それでは、議案第44号「大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。資料は10ページから12ページになります。 資料ナンバー3の新旧対照表も併せて御覧ください。

本案は、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規 定により、大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例案について市長から意見を求め られましたが、教育委員会を開く時間的余裕がなかったことから臨時代理として事務処理 しましたので、同条第2項の規定により、これを報告し承認を求めるものであります。 資料の、12ページを御覧願います。

これは、秋田県が大曲西道路高架下の一部を運動施設として利用するために整備したものでありますが、市民が利用するに当たり、市が運動施設を無償で借り受け管理することから、当該運動広場を公の施設として条例規定するものであります。

広場の名称は、飯田地区内に位置しますので「飯田運動広場」とし、面積は735平方メートルのクレイ舗装スペースが2面で1,470平方メートル、うち1面は夜間照明があります。広さの目安は、1面がテニスコートの大きさです。同様に735平方メートルの駐車スペースがあり、40台程度の駐車が可能です。

市では、手洗い用蛇口と仮設の簡易水洗トイレを設置してスポーツ環境の整備を図り、 貸出業務については、運動広場に近いサンクエスト大曲にお願いすることとしております。 県有財産無償貸付契約は、3年ごとの更新となっております。

条文では、既設の大仙市運動広場設置条例の第2条の表に規定しております藤木地区運動広場、余目地区運動広場に加え、「飯田運動広場」として名称と位置を追加するものであります。施行期日は、平成27年10月1日としております。

以上、御報告いたしましたが、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

吉川教育長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

富樫委員

高架下の運動広場ということですけれども、冬も利用できるものですか。

生涯学習部長

可能です。

富樫委員

中学校の部活動でも、空いている場合には利用できるものですか。

生涯学習部長

どなたでも結構です。

富樫委員

夜間照明があるということですが、夜間は何時まで利用できるものですか。

生涯学習部長

午後9時までとする予定です。ただ、照明といっても、夜間も昼間のように明るくなるようなそういうレベルのものではありません。

竹原委員

こういった場合には、国土交通省からお話があるんですか。

生涯学習部長

国土交通省ではなく、県からお話があったということです。先ほども申し上げましたとおり県と市との間で無償貸付契約を締結して、市が管理を行うことにしたものです。県でも相当のお金をかけて整備したようです。

吉川教育長

ほかにございませんでしょうか。

各委員(なし)

吉川教育長

皆様、よろしいでしょうか。それでは、議案第44号「大仙市運動広場設置条例の一部 を改正する条例案に関する臨時代理について」は、報告のとおり承認することとします。

次に、議案第45号「平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課、スポーツ振興課の順に補正内容の説明をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、資料の13ページを御覧いただきたいと思います。議案第45号「平成27年度大仙市一般会計補正予算(第4号)案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様ですので、省略させていただきます。資料の15ページを御覧いただきたいと思います。

今回の教育委員会関係の補正予算の概要についてですが、補正予算関係の補正前の額 16億1,055万7,000円に対しまして補正額1,805万円、補正後の額16億2, 860万7,000円としたものでございます。内訳といたしましては、1項の教育総務 費として123万円、6項の保健体育費として1,682万円となっております。

ここからは、各課ごとに補正内容を御説明申し上げたいと思います。

はじめに、教育総務課から御説明申し上げます。16ページを御覧願います。

事業名は、教育文化基金積立金でございます。補正前の額がゼロ、補正額が123万円、補正後の額が123万円であります。この事業の目的は、児童生徒及び市民の教育環境の充実、スポーツ及び地域文化の振興に資するため寄附金を基金に積み立て、教育委員会の事業や教育環境の充実のため活用するものでございます。2の事業の概要を御覧いただきたいと思います。今回の積立金は2件の寄附金があり、一つ目は今年6月2日に県内に生家のある京都府の一市民からテレビで鈴木空如の作品に感銘を受けたということで、3万円の寄附金をいただいたことから基金に積み立てるものでございます。二つ目は6月3日、本市在住の高橋寛氏から子供たちのふるさとの自然環境学習や生態学習に役立ててほしいと、120万円の寄附金をいただいたものでございます。当該寄附金は、寄附者の意向を踏まえ、飯田沼子どもつり大会における自然生態について学び、楽しんでもらいたいと平

成28年度から平成39年度までの12年間、毎年度10万円ずつ活用するというものでございます。補正額の財源内訳は、全額教育費寄附金としてその他財源となります。

以上で、説明を終わります。

生涯学習部長

引き続き、スポーツ振興課所管分について御説明いたします。資料の17ページ、事業 説明書を御覧願います。

小・中学生ウィンタースポーツ推進事業費につきまして、1,283万4,000円の補 正をお願いするものであります。

この事業は、市内の小・中学生が雪国の特性を生かしてスキー技術の習得を図ることと、 地元のスキー場を家族で利用していただく機会を提供し、スキー人口の増加と地元経済の 活性化を図ることを目的として平成17年度から実施しているものです。

無料共通シーズン券の交付対象は、小学生全学年、中学1、2年生と大曲養護学校生並びに区域外就学の小・中学生を含めた5,117人となっておりますが、転入転出によっては若干の変動があります。シーズン券使用料の積算に当たっては、昨年の利用実績値を根拠に820円の単価を乗じた額1,271万円を見込んでおります。実際の運用に当たっては、利用実績に応じて各スキー場に支払うことになります。このほか、シーズン券印刷費等を含めた合計1,283万4,000円の補正をお願いするものであり、財源内訳はウィンタースポーツ推進事業債が1,270万円、一般財源が13万4,000円となっております。

続きまして、資料の18ページを御覧願います。

大曲武道館改修事業にかかる経費につきまして、398万6,000円の補正をお願いするものでございます。大曲武道館は、昭和54年に旧耐震基準により建設されています。市所有建築物耐震化計画によって平成23年度に耐震診断を実施した結果、耐震補強対策が必要と判定されています。これを受けまして、平成24年度に耐震補強工事実施設計書を作成したところでありますが、鉄骨ブレースが館内外に露出され、現在よりも相当使い勝手が悪くなる箇所が増えること、施設が築後36年を経過し老朽化が進んでおります。特に屋根は、全面葺き替えを要する状況となっていることなどから、耐震補強と屋根改修を合わせると、平成25年度の設計額で約8,000万円ほどの積算額となっておりました。使い勝手が悪くなる上に高額な改修費が必要であることや、補強工事をしても全体的な老朽化により、今後、多額の維持管理費や改修費が見込まれることなどを考慮して検討を加えたところであります。その結果、現在の武道館を解体し、同じ位置に同規模程度の武道館を新築する計画といたしました。

このたびの補正は、この全面改築にかかる基本設計業務委託費として398万6,00 0円をお願いするものであります。財源は、全て一般財源となります。

以上、御説明いたしましたが、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

吉川教育長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

鈴木委員

現状の大曲武道館の利用状況、利用頻度、利用団体等がお分かりでしたら、お知らせ願います。

生涯学習部長

大曲武道館は、柔道、剣道、空手、少林寺拳法、太極拳、居合いなどの団体が利用しています。なぎなたでは、大曲高校が利用しています。また、大曲体育館で大きなイベントがあった際の控所、秋の稔りフェアの際の会場、あるいは選挙の投票会場にも利用されています。利用頻度は、非常に高い状況にあります。

吉川教育長

データでは、平成25年度で1万5,650人、昨年度平成26年度で1万7,111人が利用しています。結構、利用されています。

鈴木委員

設計に当たっては、利用者の声が届くような方策、アンケートのようなものを取っているものでしょうか。

生涯学習部長

改築の検討に当たっては、利用者の皆様からかなり御意見をお聞きいたしました。駐車場が狭いから、もっと広い場所に建てられないかなどの御意見がございました。いろいろな方々から幅広く御意見をお聞きしましたが、先ほども申し上げましたように、いろいろな状況から現在地に同規模の武道館が必要だということであります。まず、これからも利用者とも話し合いをしながら、進めていきたいと思っているところであります。

吉川教育長

御指摘があったように、利用者の希望も十分踏まえた設計ということで、よろしくお願いします。ほかにございませんでしょうか。

風登委員

基本設計の後には実施設計、建築ということになると思いますけれども、実施設計や建築にどのくらいの時間が掛かって、新しい武道館はいつ頃から利用できるのか教えてください。

生涯学習部長

この9月補正で基本設計費をお願いしようということは、非常に早めにやりましょうということであります。今年度中に基本設計をし、来年度に実施設計、再来年には建築ということになりますので、平成30年度からとなる予定です。

吉川教育長

工事期間中、1年ぐらい利用できない状況になりますが、その間どうするのかといった 問題もありますね。

生涯学習部長

その点につきましても、利用団体と協議しておりますが、まず、近隣の体育館などを利用していただくよりほかはないと思います。

風登委員

利用頻度が高い分、大変ですよね。

伊藤委員

利用者のほとんどは、高校生なんですか。

生涯学習部長

一般の方々もいらっしゃいます。

伊藤委員

市内の高校から近い距離ということもあって、現在地にということだと思います。まして利用頻度も高いということですからね。

吉川教育長

改築することは大変有り難いことですけれども、工事期間中の利用者をどうするかということについて、いろいろと折衝してあまり支障のない形にしていかなければと思います。 どこかの代替施設を活用するとか、配慮していかなければと思います。

ほかにございませんか。

各委員(なし)

吉川教育長

皆様、よろしいでしょうか。それでは、議案第45号「平成27年度大仙市一般会計補 正予算(第4号)案に関する臨時代理について」は、報告のとおり承認することとします。 以上で、付議案件の審議を終わります。

続きまして、次第の5番その他に入らせていただきます。資料ナンバー2の避難所開設 訓練について、説明をお願いします。

教育指導課長

教育指導課から避難所開設訓練について、説明させていただきます。8月29日土曜日に西仙北中学校、西部わくわくランチを活用しての避難所開設訓練を実施いたします。当然、西仙北中学校の生徒、教職員が参加するわけですけれども、それに合わせて「いじめ撲滅宣言」を出しました中学生サミットのメンバー、小学校の希望者にも参加していただ

きまして、震度6の地震が発生したという想定で、避難所を開設する訓練です。中学生が 実際に開設準備を行います。その後、避難者の受入れを行います。その後、西部わくわく ランチの施設を活用しまして、給食に準じた形で非常食を提供しようと考えたんですが、 保健所から目的外使用に当たるという指摘がございまして、まず、お湯を沸かしてレトル トカレーを温めて提供するという形を取らせていただきました。本来であれば、わくわく ランチの良さを発揮したいところでありました。本当の非常時には実際に使えると思うん ですが、訓練ではまずいということで、今回はお湯を沸かしてレトルトカレーを温めて、 実際に非常食の運搬、配膳、提供等を中学生が一緒にやらせていただきました。その後、 救命対応訓練、AEDの使い方を学習して、その後、本来の姿である自主防災組織あるい は西仙北支所の方々に避難所を引き継いで帰りの会を開くという形になります。これまで も、この訓練は、昨年、大曲西中学校で実施しました。各地区で実施して、それをモデル に中学校が自分の学校では何ができるか、どんなふうにできるか考えていこうという試み でございます。そういう意味でサミットメンバーも一緒に参加して、市内どこの中学校で も避難所が開設できるように今、その準備としてそれぞれの学校でモデルを実践していた だいているという形でございます。現在のところ、300人ぐらいの参加になるのではな いかと思っております。以上です。

吉川教育長

後で一括して御質問いただくことにいたしまして、資料ナンバー4の全国学力・学習状況調査の概要について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長

資料のナンバー4を御覧願います。今年度の全国学力・学習状況調査の結果が、昨日午後5時に文部科学省から公表されました。これを受け、皆様に調査結果等について説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

本調査は、本年4月21日に小学校6年生と中学校3年生を対象に、小学校は国語・算数・理科、中学校は国語・数学・理科の3教科で実施されたものであります。

秋田県の調査結果の概要につきましては、小学6年の国語A・Bと算数A・Bの4科目、中学3年の国語A・Bの2科目で平均正答率が全国トップとなるなど、平成19年度に本調査が始まって以来、8回連続で全国トップクラスの成績を収めているとのことでありました。

なお、本調査の中身につきましては、児童生徒に対する「教科に関する調査」、いわゆる学力調査に加えまして「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」アンケート調査の2種類となっています。質問紙調査は、児童生徒が回答する調査と、学校の管理職等が指導方法や学習指導全般に関する整備状況等について回答する調査の2種類があります。

それでは、資料の説明に入らせていただきます。全国及び本県との比較における本市の 状況につきましては、「教科に関する調査」及び「生活習慣や学習環境に関する質問紙調 査」のいずれの結果からも、小・中学校共に良好な状況が維持されているものと捉えてお ります。

はじめに「教科に関する調査」についてであります。資料内のグラフを御覧ください。

グラフには3本の柱を示してございますけれども、左が大仙市、中が秋田県、右が全国の 平均正答率を示しております。小・中学校共に、ほとんどの教科において全国及び本県の 平均正答率を上回っており、小学校算数Aにつきましても、ほぼ本県平均正答率と同程度 であることから、おおむね良好な状況にあると捉えております。特に、小・中学校共に3 教科全て、活用に関するB問題は良好な状況が維持されております。このことにつきましては、小・中連携による9年間を見通した学習指導の充実を図るとともに、各学校における組織的な研究体制の下、児童生徒主体の学習が一層進められていることが、基盤になっていると捉えております。また、各学校におかれましては、個に応じた指導等により基礎学力の定着を図るとともに、根拠を基に自分の考えを述べたり、学び合い等で自分の考えを深めたりしながら、活用する力を育成するための授業改善を積極的に進めていることも成果として挙げられます。

次に「生活習慣・学習環境に関する調査」についてであります。

児童質問紙の結果からは、小・中学校共に、ほとんどの質問項目において全国及び本県の平均を上回っており、本市の児童生徒は、望ましい生活環境の中で基本的生活習慣及び学習習慣を確立し、意欲的に学習に取り組むことができております。また、各学校では、学校生活の中で、達成感や自己有用感をもたせる機会と場の充実を図ることで、学ぶ意欲を育むとともに、地域人材の活用等、開かれた学校づくりを積極的に進めていることも成果として挙げられます。併せて、家庭や地域が好ましい関わりをもって児童生徒の成長を支え、学校の方針等に建設的な協力をしてくださっていることも本市の強みであります。

これらを受けまして、市教育委員会では本調査結果を十分に活用し、児童生徒一人一人の課題の改善状況を点検するフォローアップシートや指導方法の改善に生かす資料等を今後も提示し、基礎・基本の更なる定着を図るとともに、小・中9年間を見通した学習指導を一層充実させ、幼保・高校・大学との連携も積極的に推進し、「総合的な学力」を身に付けた児童生徒の育成を目指して、各学校の取組を今後も引き続き支援してまいります。以上でございます。

吉川教育長

概要でございました。この後、分析をしますが、次の定例会までにはより詳しい本市の状況をお知らせしたいと思っております。報道されましたので、御承知のことだと思いますが、小学校 6 年生は秋田県は国語、算数全て 1 位でありました。ただ、理科は 3 位でした。前回は抽出でございましたが、 1 位でした。ちなみに、理科の 1 位は富山、 2 位は福井でありました。中学 3 年生の方は、国語 1 も 1 は 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 も 1 は 1 も

昨年は国語Bが2位でしたけれども、今回は1位でした。数学ABとも2位でございました。理科も2位でした。理科は前回抽出で4位でしたが、今回2位になりました。ちなみに、数学の1位は福井と、理科の1位も福井でございました。こういった状況です。

今の二つの件について、御質問、御意見ございますでしょうか。

富樫委員

はじめに避難所開設なんですけど、目的外使用ということでわくわくランチを使えなかったということのようですが、やはり、いざというときのために訓練しておくのが本当だ

と思いますので、今回は仕方ないとしても、地域のために役立つ学校や給食センターでありたいと思いますので、訓練時に使用できるよう働きかけをしていただきたいと思います。もう1点、全国学力・学習状況調査についてです。昨日からニュースで報道されていますが、今回も秋田県がトップの成績ということで、これも先生方、ここにいる職員の皆様の御努力の賜と思います。私は、大仙市の総合計画の委員も務めさせていただいております。各業界から委員が委嘱されていまして、大仙市で何をアピールしていったらいいのかということが話題になりました。やはり、大仙市の子どもの教育、学力を全国にアピールして大仙市を元気づけていきながら、企業誘致につなげていったらどうかという話も出ていますので、国の機関を大仙市に誘致したいという動きもありますし、子どもの学力が高ければ、そうした方々も安心して子どもをこの地域に預けられると思いますので、今後もより一層、よろしくお願いします。

吉川教育長

この前の8月4日の教職員研究集会の際も話したんですが、非常に学力を含めていろいるな素晴らしい要素がございます。大仙教育メソドという形で全国に発信して、1世帯でもこちらに移住するような方がいらっしゃれば嬉しいのですが、実際に九州ではそうした取組をして来る方がいらっしゃるみたいなんですね。これからは、いいものはどんどん発信していかなければと思っております。

教育指導部長

富樫委員のわくわくランチの件について、私から若干補足説明させていただきます。 わくわくランチは、防災機能を有する非常時に対応した施設として建築しましたので、 こうした機能をフルに活用した訓練を計画しておりました。かつて、秋の稔りフェアで学 校以外のところに給食センターで作ったものを提供した際に、何かあっては今後の業務に 対して停止せざるを得ないという指導をいただいておりました。ただし、この訓練に当た って、給食センターの職員も給食協会の方々も非常時に対応した訓練には、一緒になって 参加するということで、最低限ではありますが、わくわくランチの機能を使ってやれるこ とをこのたびやるということで協力をいただいて、今回の訓練が実現したということであ ります。

吉川教育長

学校給食センター所長、その辺の状況について、補足してください。

学校給食総合センター所長

ノロウイルスの食中毒発生以前は、部長がおっしゃられたように秋の稔りフェアの際に各センターから試食ということで給食を運んでお客さんに提供しておりました。例の事故以来、保健所からもしも何かあった場合は、給食センターそのものが停止になるので、こういうものは止めていただきたいとの指導がございました。今回は、支障のない最低限の機能を使っての訓練となっております。

吉川教育長

この辺の保健所の理解というのは、どのくらいのものですか。災害で緊急のときは、や むを得ないという認識でいるんでしょうか。

学校給食総合センター所長

そうだと思います。

鈴木委員

私、思うんですけれども、そういう危険なものを毎日子どもに食べさせているんだというのが、保健所の認識だとすると大問題だと思うんですね。そういう発想をするのであれば、教育委員会から厳重に抗議した方がいいと思います。ちょっと、発想がおかしいと思うんですね。しかも、大災害を想定して訓練するということは当たり前のことで、それに何か保健所の方でリスクをおそれた話をするのは、ちょっとどうかなと思います。言うべきときに言わないといけないんじゃないかと思います。例えば、そうした心配をするのであれば、夏休みのはじめの方に訓練を行うとか工夫も必要でしょうけれども、何とか折り合いを付けて、来年からは必ずやらせてもらえるように強い働きかけをした方がいいんじゃないかと思います。

吉川教育長

鈴木委員のおっしゃることも含めて、今後の対応について保健所とも詰めていきたいと 思っております。

学校給食総合センター所長

ただいま、鈴木委員から大変いいアドバイスをいただきました。訓練を夏休みの前半に持ってきて、万が一の場合でも授業に支障が出ない形ではどうかということを保健所と協議したいと思います。

吉川教育長

ほかにございませんか。

教育指導部長

あと1点だけ、全国学力・学習状況調査につきましては、実施要綱の趣旨に沿った形で、 大仙市としてはいわゆる生の数値が見えない形でこれまで公表をしてまいりました。学校 ごとの数値等も公表しておりません。ホームページにもアップして結果を公表しながら、 趣旨に沿ってこの結果を改善に生かしていくということで、マスコミにも同様に説明して おります。

吉川教育長

この話題に限らず、ほかに何かありましたら、お願いします。

風登委員

文科省からいじめの再調査があるようですが、2014年度の大仙市はどのような報告をされているんでしょうか。

教育指導部長

問題行動調査は、年度末に提出しております。この後、都道府県単位での結果が公表されて、市教委の数値は公表されていませんでした。不登校の全国の出現率が千人当たり11.7パーセント、県が8.8パーセントですけれども、大仙市はこれらよりも低い数値となっております。25年度末に関しても、これは全国も県も公表になっていませんが、全国は更に前年度よりも多くなっています。この後、公表されると思いますが、県も増えています。本市の場合、不登校については、減っております。いじめの認知につきましても、本市は横ばいの状態です。再調査の通知がまいりまして、各学校に調査の依頼をしているところでありますが、かなり、細かいものまで上がってきておりますので、しっかりした報告が届いているものと考えております。

風登委員

部長さんから先生方に、いじめの認知件数が多いからどうのこうのということはないんだというお話をされていらっしゃいましたが、全くそのとおりだと思うんですが、文科省は都道府県によって千人当たりの数値の差があまりにも大きくて信じがたいということでしたよね。ですから、いろいろな視点で言われても、本市の場合は再調査を行っても、前回の調査とそんなに変わらないだろうということでしょうか。

教育指導部長

はい、そのように理解していただいてよろしいかと思います。

吉川教育長

認知のきっかけは、国であれ、県であれ、アンケートで分かっているのは2割ぐらいなんですよ。残り8割は、ほとんど相談とかでありまして、相手も分かっているんですよ。アンケートだけで分かるような本市の状況ではないので、今回、再調査してもあまり変わりないんじゃないかなと思います。

風登委員

そうであればいいと思います。

吉川教育長

いじめは、どこにでもあるのだという意識でやっていますが、見つかったときに適切に 迅速に対応するということが一番ですので、信じてやっていきたいなと思っております。 ほかにございませんか。

伊藤委員

全国学力・学習状況調査の国の見解といったものは、出ているものでしょうか。新聞で見ているだけなんですが、秋田、福井、富山、石川と、日本海側、早く暗くなる、雪も降る、大都市はない、農業、漁業に従事する人たちが多い、貧しい、景気に左右されにくいなど国の方ではそういう住環境にあるところの子供たちは良く育つとか、何か結論めいたものを出していませんか。

教育指導部長

国の報告に地域性については、一切出されていませんが、国から委託された検証のための委員の方々の個人的な研究の中には、経済が影響しているとか、地域性があるとか様々なことはいわれていますが、国の公式見解としては出されていません。

風登委員

日本海側にあまり成績の良くない県もありますので、もし、そうした県も良ければ地域性との関連も言えるのかもしれませんけれどもね。

吉川教育長

よろしいでしょうか。ほかにございませんでしょうか。

教育総務課長

9月の定例会の日程についてです。9月25日金曜日の午後2時からここで開催したいと考えております。よろしくお願いいたします。

吉川教育長

委員の皆様、次回9月25日金曜日の午後2時からということで、いかがでしょうか。

各委員(異議なし)

吉川教育長

では、次回の定例会は、9月25日金曜日の午後2時からということでお願いいたします。

ほかに、皆様からございませんでしょうか。

(なし)

吉川教育長

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。 ありがとうございました。